

明を一部修正のうえ総会提案とする。

- (5) 第28期役員選任・・・庶務担当理事が総会資料として準備。
 - (6) 1994年度事業計画案・・・事務局と庶務担当理事が各担当理事の意向にしたがって調整する。
 - (7) 1994年度予算案・・・集誌 TOGA 特別号には文部省補助金100万円が見込まれる。今年度から中部支部の夏期大学が始められ、これに対して10万円の補助を支出する。全体として郵便料金の値上げを集誌の印刷単価の減少が吸収することになり、年度では収支ほぼ均衡。この予算案を了承した。
6. 日本物理学会等の「理科教育の再生を訴える」声明について
日本物理学会、応用物理学会、日本物理教育学会の連名で出された標記の声明が気象学会に送付され

てきた。気象学会としても興味のあることなので、とりあえず学会 BBS に掲示する。この声明を引用するかたちで『天気』の「気象談話室」で取り上げてはどうかとの意見が出され、教育と普及の委員会から適当な人に執筆を依頼することにする。

7. 千葉大学環境リモートセンシング研究センター設立に関して

標記センターの設立に関して、千葉大学の竹内会員から気象学会理事長に対し、気象学会からのサポートの依頼があった。常任理事会としてこの件について議論した結果、既存の他大学や国立の研究センターの研究テーマとの関連についてももう少し明確にすること、また、気象学会が何らかのサポートを行うとして、最も適当な方法等についてももう少し詰めることにし、浅井理事長に一任。

日本気象学会夏期特別セミナー（第5回夏の学校）開催のお知らせ

日本気象学会夏期特別セミナー（夏の学校）は、若手研究者どうしの、研究に関する議論と情報交換の場、また親睦と交流を深める場として恒例のものとなりました。第5回目となる今回は、名古屋大学が主管となって実行委員会を組織し、準備をすすめています。例年より遅くなりましたが、このたびようやくその内容が決定しましたのでご報告します。今年は、初めての試みとして週末を含む3日間の開催とし、また、招待講演を下記のお二人の先生にお願いしました。このほか、参加者有志による一般講演も例年通り予定していますので、積極的なご参加をお待ちしています。申込みの方法その他、詳細は既にお手元に郵送しておりますので、そちらを参考にしてください。また、参加をご希望で案内がまだ届いていない方は、下記連絡先まで至急ご一報ください。なお、参加申込みの一次締切は6月24日（金）と致します。

期 日 1994年7月30日（土）午後～8月1日（月）
午前

場 所 河口湖サン・コート

〒401-04 山梨県南都留郡河口湖畔勝山村
1106-2

Tel 0555-83-2839 Fax 0555-83-2730

富士急行・河口湖駅より バス10分

東海道新幹線・新富士駅よりバス90分

東京・名古屋から直通バス有り

招待講演 岩坂泰信

（名古屋大学・太陽地球環境研究所）

「地球環境—マイクロにみてマクロを理解する—」（7月31日午前）

内藤勲夫（国立天文台・水沢観測センター）

「大気水圏地球系の角運動量収支」

（8月1日午前）

連絡先 〒464-01 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大気水圏科学研究所

日本気象学会若手会・第5回「夏の学校」
実行委員会

代 表 皆已幸也

事務局 森 昌彦

Tel 052-789-3495 Fax 052-789-3436(事務局)